

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年4月2日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年4月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【雑固体廃棄物焼却設備の計装用空気貯槽圧力低警報の発生について】 雑固体廃棄物焼却設備の計装用空気貯槽圧力低警報が発生。 原因を調査する。	GⅢ	3月28日
2	【モニタリングポストNo.3連続ダストモニタ(B)系ダストフィルタ分析時の汚染伝播について】 モニタリングポストNo.3連続ダストモニタ(B)系の警報発生に伴いダストフィルタを分析した結果、Cs-137を検出。測定容器を入替え再分析したところ、Cs-137は不検出。 汚染調査の結果、ダストフィルタを測定容器に封入する作業において汚染伝播が発生した可能性が高いと判断。 再発防止対策を検討する。	GⅢ	3月28日
3	【共用プールサンプポンプの異音、振動の発生について】 共用プールの機器ドレンサンプポンプ(A)、シャワドレンサンプポンプ(B)から異音、高電導度サンプポンプ(A)から異音および振動の発生を確認。 点検修理を実施する。	GⅢ	3月28日